

## 脳梗塞とは？

脳梗塞とは脳内の血管が細くなり、血栓ができて血管が詰まってしまうものです。血管が詰まると血液の流入が止まり、脳に酸素や栄養が行き渡らなくなります。脳の血管が突然つまって血流が途絶えてしまうので脳細胞が機能しなくなります。脳梗塞には血管のつまり方によって、ラクナ梗塞やアテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症に分かれます。ラクナ梗塞は脳の血管が枝分かれした細い動脈が詰まるもので梗塞は小さいものです。アテローム血栓性脳梗塞は太い血管が動脈硬化により血管が細くなり血栓が詰まっています。心原性脳塞栓症は心臓にできた血栓が脳の中に流れて詰まるもので脳梗塞自体は大きいです。症状は様々あります。例えば、左右の半身の手足や顔がしびれたり動かしづらくなる、手足に力が入らない、立ったり座ったりができない、歩きづらい、めまいがする、呂律がまわらない、言葉が出てこない、他人の言うことがわからない、物が見えにくかったり二重に見える、注意が散漫になり作業に集中できないなどが出てきます。当院では麻痺した身体や麻痺していない身体に対するアプローチ（代償動作を獲得することで日常生活が可能になる）も含めたリハビリテーションを行うことで、少しでも早く日常生活に戻れる支援を行います。

